

日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2022年12月5日月曜日

GitHubにAPEXアプリをエクスポートする(1) - GitHub側の準備

本ブログでは作成したAPEXアプリケーションのエクスポートを、以下の手順でGitHubにアップロードし公開しています。最近ではYAML形式のファイルを含めるために、エクスポートのフォーマットとしてZIPを選択しています。

1. アプリケーションをZIP形式でエクスポートする。
2. ローカルのPCにZIPファイルがダウンロードされる。
3. GitHubにアップロードする。

少々手間がかかります。また、ZIP形式だと内容を確認するにはファイルをダウンロードする必要があります。

作業を簡単にするために、Autonomous Databaseで提供されている[DBMS_CLOUD_REPO](#)パッケージとOracle APEXが提供しているAPEX_EXPORTパッケージを使って、エクスポートを直接GitHubに保存するAPEXアプリケーションを作成してみました。

以下のような動作になります。



実行結果として、以下のZIPファイルやYAMLファイルがGitHubに作成されます。

<https://github.com/ujnak/apexapps/tree/master/exports/app-export-to-github/readable/application>

<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/app-export-to-github.zip>

YAML形式のファイルのアップロードはファイルの数が多いために、時間がかかるようです。

ちなみに、GitHubからアプリケーションをインストールする方法として、カスタム・ギャラリーを作る方法を以前に紹介しています。

ギャラリーへカスタム・アプリケーションを登録する

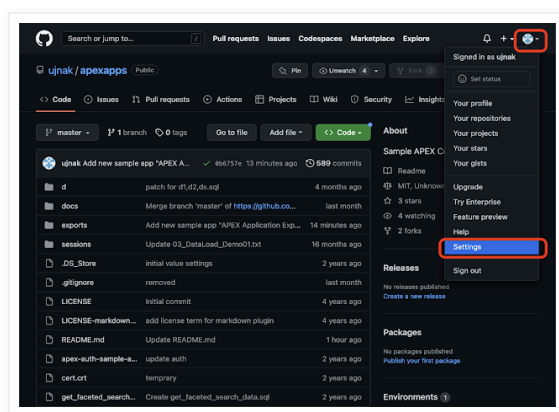
<https://apexugj.blogspot.com/2022/07/gallery-custom-apps.html>

GitHub側での準備

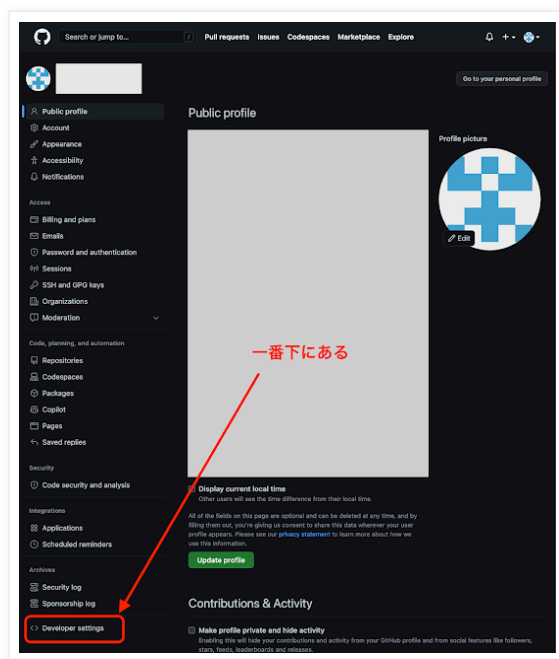
GitHubのアカウントを取得していること、および、リポジトリが作成済みであることを前提とします。

GitHubより**パーソナル・アクセス・トークン**を生成し、それを使ってパッケージDBMS_CLOUD_REPOで利用できる**クリデンシャル**を作成します。

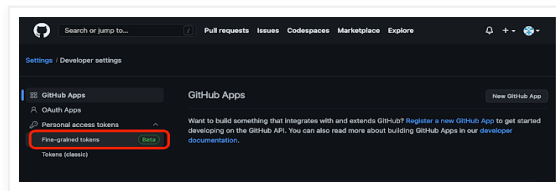
GitHubのサイトより**Settings**を開きます。



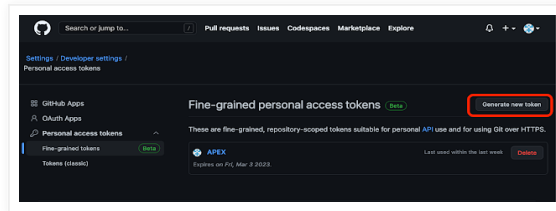
左のメニューの一番下にある**Developer settings**を開きます。



Personal access tokensを開き、**Fine-grained tokens**を選択します。2022年12月5日現在でBetaとなっていますが、このアクセス・トークンはデータベース側で作成したクリデンシャルとして使えました。

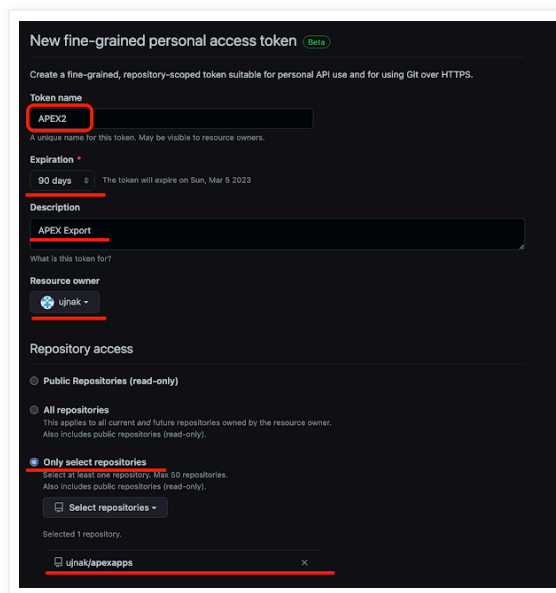


Generate new tokenを実行します。

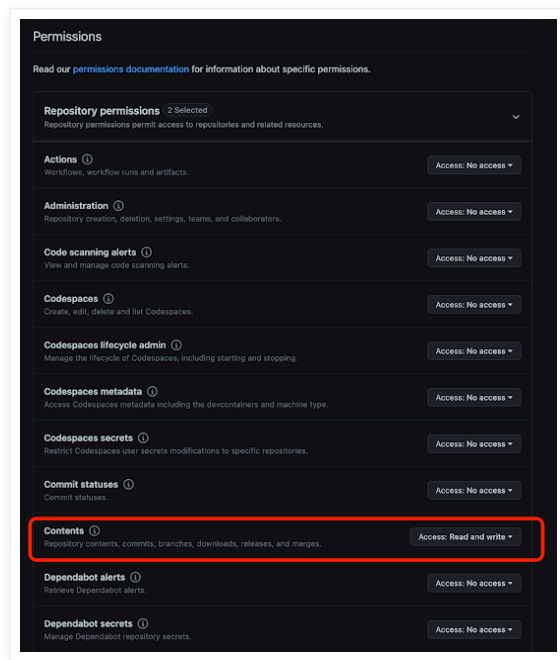


アクセス・トークンに関する設定画面が開きます。

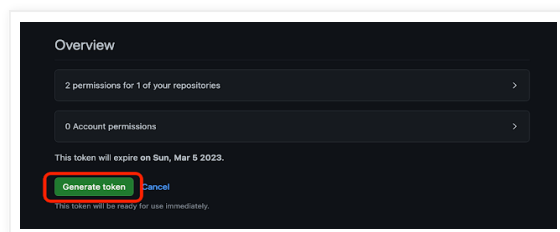
Token name、Expiration、Description、Resource ownerを設定します。Repository accessとしてOnly select repositoriesを選択した場合は、コミットするリポジトリをSelect repositoriesから選択します。



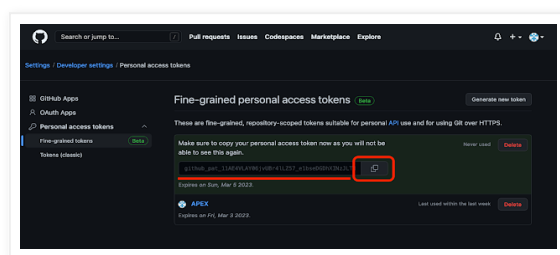
PermissionsのContentsをRead and writeに変更します。



画面の一番下にある**Generate token**をクリックします。



生成されたパーソナル・アクセス・トークンをコピーします。APEX側でクリデンシャルを作成する際に、このトークンを使用します。



以上でGitHub側の準備は完了です。

続く

Yuji N. 時刻: 18:00

共有



ホーム



ウェブ バージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.
